Ⅶ. 学生支援

1. 修学支援

学生が充実した学生生活を過ごすことができるよう支援するため、学業や生活面に関わる指導と助言を担う組織として、各学部に学生、教務、就職等に関わる委員会を設置している。また、全ての学生に担任教員を定めて個々に面談等を行い、個別に細やかな指導や助言を行えるよう配慮している。さらに、全学的にオフィス･アワーの制度を設け、学生が授業に関する質問や諸問題に対する相談等を遠慮なく行うことができる体制を整えている。

(1) 新入生オリエンテーション

入学間もない新入生を対象として毎年実施している。2019 年度の概要は以下のとおりである。なお、本年も札幌近郊の定山渓温泉を会場として一泊二日の宿泊オリエンテーションを実施した(4 月 8 日(月)･9 日(火))。

■4 月 4 日(木)全学オリエンテーション

時間	内容	担当
9:30～10:00	受付･学生証配布	学務部
10:00～10:55	【全体ガイダンス】 ○学生生活全般について　＊学生便覧内容を中心に主な項目は以下のとおり。 ･学生生活全般について ･健康管理について　＜保健センター、附属医療機関、診療費補助、禁煙　等＞ ･学生相談について　＜担任制、学生相談室の利用、キャンパスハラスメント＞ ･総合図書館･ネットワークの利用について ･生活アドバイス･学内サービス施設･学内の手続き窓口について	総合司会:安部実行委員長 進行･説明: 入江歯学部学生部長
10:55～11:10	休憩	
11:10～11:40	○禁煙･薬物乱用防止に関する講話	薬学部･中山講師
11:40～12:40	昼食	
12:40～13:20	○ネットマナー(Twitter･SNS トラブル等)　について	学生支援課長
13:20～13:50	○交通安全に関して	札幌北警察署交通課
13:50～14:05	休憩	
14:05～14:35	○抗体価･ワクチン接種について	保健センター
14:35～15:05	○奨学金に関する説明	学生支援課
15:05～	○SCP について･○学友会について(クラブ紹介)	SCP･学友会

■4 月 5 日(金)学部･学科･学校別オリエンテーションおよびガイダンス等

	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学部	医療技術学部	歯科衛生士専門学校
午前	･教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	･入学時テスト	･学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて	･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて ･英語力判定ﾃｽﾄ	･入学時テスト	･教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて	･ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ
午後	･ﾌﾟﾚｲｽﾒﾝﾄﾃｽﾄ	･教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて	･学科別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･学内見学 ･ｺｰｽ別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	･教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ･ﾊﾟｿｺﾝｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて ･学科別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	･入学時テスト	･宿泊ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝについて

■4 月 8 日（月）・9 日（火）宿泊オリエンテーション

学部	会場	4 月 8 日（月） －1 日目－	4 月 9 日（火） －2 日目－	対象者数 （転学科者等含む）	参加者数		
					新入生	教職員等	合計
薬学部	定山渓ﾋﾞｭｰﾎﾃﾙ	10:30 開会式 10:45 学問との出会い 11:45 昼食 12:40 大学出発 14:45 学友との出会い 16:00 同窓会主催イベント 18:30 夕食・自由時間（各種相談コーナーほか） 23:00 消灯・就寝	7:00 朝食 9:00 閉会式 12:00 大学到着	166	163	39	202
歯学部	ホテル鹿の湯	9:20 大学出発 12:00 昼食 13:10 ゲーム大会 15:00 クラス別ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ 17:30 夕食 19:30 スライド勉強会 21:00 自由時間（各種相談コーナーほか） 23:00 消灯・就寝	8:00 朝食 9:30 閉会式 12:00 大学到着	83	82	20	102
衛生士学校				22	21	3	24
看護福祉学部	定山渓ホテル	10:30 クラス別研修（昼食を含む） 13:00 大学出発 15:30 全体研修・卒業生講話 17:00 夕食 20:00 相談・交流コーナー 23:00 消灯・就寝	7:00 朝食 9:00 閉会式 11:30 大学到着	158	158	47	205
心理科学部	定山渓ﾋﾞｭｰﾎﾃﾙ	10:00 大学出発 12:10 昼食 13:30 学科別プログラム 14:30 クラス別・全体交流会 17:00 夕食・自由時間 19:15 相談・交流コーナー 23:00 消灯・就寝	7:00 朝食 9:00 閉会式 11:00 大学到着	75	74	13	87
リハビリテーション科学部	定山渓ﾋﾞｭｰﾎﾃﾙ	9:40 大学出発 12:00 昼食 13:00 全体研修 1 15:30 ネットマナー講習/全体研修 2 17:00 夕食 19:00 学科別・クラス別研修 20:10 相談・交流コーナー 23:00 消灯・就寝	7:00 朝食 9:30 閉会式 12:30 大学到着	204	204	34	238
医療技術学部	定山渓ﾋﾞｭｰﾎﾃﾙ	9:40 大学出発 12:20 昼食 13:00 全体研修会 1 16:00 学科・クラス別研修 17:30 夕食 19:30 全体研修会 2 20:30 相談・交流コーナー 23:00 消灯・就寝	7:00 朝食 9:30 閉会式 12:30 大学到着	72	71	24	95

（2）学生担任制

学生生活や修学上の諸問題に関する指導や助言を行うため、学生担任制度を設けており、教員1人当たり 10～20 名の学生の担任となっている。

（3）障害・疾患等に関する修学支援相談体制

主に障害・疾患等を抱える学生に対して修学上の支援を行うため、入学の際に「修学支援に関する相談書」の提出を受けて、入学後の修学支援について具体的な相談を進める体制を整えている。また、入学後においても学生担任が随時、相談を受け付けており、必要に応じて保健センターとも連携して対応している。

（4）履修科目の上限設定

1 単位当たりに必要な学修時間（45 時間）を確保することで単位の実質化を図るとともに、各年次にわたって適切に履修することで学修の質を向上させることを目的に、1年間に履修登録することができる単位数の上限を各学部履修規程において定めている。

各学部の上限は以下のとおりである。

薬学部 45 単位、歯学部 60 単位、看護福祉学部 55 単位、心理科学部 48 単位、リハビリテーション科学部 48 単位、医療技術学部 46 単位。

（5）オフィス･アワー

オフィス･アワーとは、教員が特定の曜日・時間をあらかじめ定め、学生からの授業に関する質問や学生生活、進路などの相談に個別に応じるため研究室等で待機している制度で、本学では 1996 年度から全学一斉に実施している。各教員の設定した曜日・時間帯の詳細は、ホームページや掲示で周知している。

(6) カリキュラムガイダンス

各学部、各学年で前期・後期の各学期初めに授業日程、履修方法、上級学年への進級条件等のガイダンスを実施している。また、実務実習(薬学部)、共用試験及び臨床実習Ⅰ・Ⅱ(歯学部)、臨地実習(看護福祉学部)の実習開始前等、特別に必要な場合は、その都度ガイダンスを行っている。

カリキュラムガイダンス概要

月	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	リハビリテーション科学部	医療技術学部
4	新入生には全体ガイダンス、学部・学科別ガイダンス、ならびに宿泊オリエンテーションを実施し、新たな環境に早く馴染んでもらえることと友人作りのための環境を提供し支援している(内容の詳細は(1)新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝにも記載)。					
	新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・学部長挨拶 ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・教務事務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **第2学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 **第3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 **第2･3学年新編入学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・単位の認定 ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 **第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 ・共用試験 ・研究室配属 **第6学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 ・総合薬学研究 ・国家試験対策 **大学院ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・研究科の科目履修 ・RA採用申請 **第1～4学年留年生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 **卒業延期学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ**	**新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長挨拶 ・担任紹介 ・教務/学生部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・教務ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **新編入生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・単位認定と履修 ・学生生活 ・校舎見学 **第2学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・基礎系教員・担任紹介 ・履修、学生生活 **第3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・担任紹介 ・履修、学生生活 **第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・担任紹介 ・履修、学生生活 **第5学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・履修、学生生活 ・担任紹介 ・臨床実習関連事項 **第6学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯学部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・担任紹介 ・履修、学生生活 **大学院1年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・履修登録 ・TA及びRA採用申請 ・論文提出に係る条件 ・各種奨学金推薦基準 **第1～6学年留年生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・再履修 ・学生生活 ・個別面談	**新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・看護福祉学部長挨拶 ・教員紹介(担任紹介含む) ・教務/学生部長等ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・学科別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・学科長挨拶 ・ｶﾘｷｭﾗﾑ・時間割等 ・科目の履修 ・学内見学 ・ｺｰｽ・課程ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **新編入学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・単位認定と履修等 **第2学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・学生生活 ・ｺｰｽ・課程ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **第3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・臨地実習 ・学生生活 ・ｺｰｽ・課程ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・学生生活 ・編入学生の履修 ・ｺｰｽ・課程ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **大学院1年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・教員紹介 ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・学生生活 ・TA **大学院2年～ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録 ・学生生活 ・倫理に関すること ・論文提出にかかる条件	**新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・心理科学部長挨拶 ・学科長挨拶 ・教員紹介(担任紹介含む) ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・ﾊﾟｿｺﾝ使用ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・学年暦 ・ｶﾘｷｭﾗﾑ、時間割、履修登録 ・学科別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・英語力判定ﾃｽﾄ ・ジェネリックスキルテスト **新編入学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・単位認定と履修 ・学生生活について **第1学年留年生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 **第2学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・学生生活 **第3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・臨地実習(臨床心理学科) ・学生生活 **第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・臨地実習 (言語聴覚療法学科) ・学生生活 ・編入学生の履修 **修士1･2年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・TA採用について **博士1･2･3年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録 ・論文提出にかかる条件 ・RA採用について	**新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学部長挨拶 ・教員紹介(担任紹介含む) ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・ｶﾘｷｭﾗﾑ、時間割、履修登録 ・学科別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ **第1学年留年生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修の注意事項 **第2学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・学生生活 **第2学年新編入年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修の注意事項 ・単位認定、履修登録 **第3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・臨地実習 ・学生生活 **第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・臨地実習 ・学生生活 **修士1年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録、時間割 ・TA **博士1年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修登録 ・論文提出にかかる条件	**新入生学部別ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・学部長挨拶 ・教員紹介(担任紹介含む) ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・ｶﾘｷｭﾗﾑ、実習について ・学生生活について ・履修登録について (i-Portal 含む) ・ロッカーの使用について
5	**第5学年実務実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** (Ⅱ期)	**第6学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・国家試験対策講義 ・一斉技能試験				
6		**第6学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・歯科ﾏｯﾁﾝｸﾞ				
7	**第6学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・国家試験対策					
8	**第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 ・共用試験 **第5学年実務実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** (Ⅲ期)	**第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期実習	**臨床福祉学科第4学年** **国家試験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** **(社会福祉士・精神保健福祉士介護福祉士)** **第2～4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・後期履修登録、時間割 ・学生生活 ・臨地実習(第3学年のみ) **修士1年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・論文提出に関すること **修士2年** **修士学位申請ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・申請日程・申請要領等		**第2～3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・時間割 ・後期履修登録	
9	**第1～3学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活	**第1学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期履修 **大学院4年学位申請ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・申請日程、学位論文作成要領等	**第1学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・後期履修登録、時間割 ・学生生活	**第1～4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・時間割 ・後期履修登録 ・学科別履修ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	**第1・第4学年ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・後期科目履修上の注意事項 ・学生/教務部長ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ・時間割 ・後期履修登録	**第1学年ガイダンス** ・後期科目履修上の注意事項 ・時間割 ・後期履修登録 ・学生生活
10		**第6学年 国家試験受験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・願書	**看護学科第4学年** 国家試験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(看護師・保健師)			
11	**第5学年 実務実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(Ⅳ期)** **第6学年 国家試験受験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ**				**第4学年** 国家試験受験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	
12				**修士2年 修士学位申請ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・申請日程・申請手続き等		
1		**第6学年 国家試験受験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・免許の申請				
2	**第5学年(対象:現第4学年)** **実務実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(Ⅰ期)** **第5学年(対象:現第4学年)** **ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ** ・科目履修上の注意事項 ・履修、学生生活 **卒業延期学生ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ**				**第4学年** 国家試験受験ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	
3						

（7） 教育支援室･学習支援センター

我が国では4年制大学進学率が 50%を超え、高等教育が大衆化し、万人に機会が提供される「ユニバーサル段階」(M.トロウ)に至っている。そのうえ、総入学定員は引き続き漸増傾向にあり、高等教育への門戸は広く開かれているため、当然の帰結として学生の学力や学習履歴は多様化し、本学においても、入学者の基礎学力という観点から見ると、成績上位層と下位層の格差が急速に拡大している現実に直面している。

本学では、最終目標を国家試験合格におく学科が多い。国家試験に対応し得る総合的な学力は、第1学年からの積み上げによる結実であるため、専門科目履修が本格化するまでの間に橋渡しとなる基盤（基礎学力）を固めておくことが重要である。増加しつつある基礎学力不足の学生を底上げして一定水準まで引き上げ、専門科目履修のための基盤をスムースに形成できるよう支援することを喫緊の課題として位置付けている。

そこで、そうした学生に特別な学習プログラムを提供し、効率的に基礎学力の向上を図るため、2011 年 10 月に開設した薬学部の「薬学教育支援室」を先駆けとして、歯学部、看護福祉学部、心理科学部に教育支援室、リハビリテーション科学部に学習支援センターを設置し、個別の学習相談･指導、生活支援、リメディアル教育（高等学校における学習内容の復習）、補習授業の開講等を展開している。

【薬学教育支援室】(2011.10 開設/薬学部棟3階)

1．目的と機能

①低学年の基礎学力対策：基礎学力が不十分な学生に対する学習指導・支援
入学前教育、補正教育(リメディアル教育)、学習方法等の指導、不得意分野克服の支援、学習の習慣化のサポート等のほか、基礎学力向上に向けた教科担当教員への学生情報の提供そのほかの連携等。

②共用試験(CBT)対策・薬剤師国家試験対策：試験対策実施時期の前段階での基礎学力の不十分な学生の学習指導
Web 演習問題の学習指導(問題演習のサポート)、知識の修得・定着度のチェック、弱点科目等の分析、学習の方法等の指導、特に理解が不十分な科目の学習指導等。

③学習相談・支援：全学年を通した学習相談室としての機能
学習相談のほか、学生の学習に関する問題点等の分析、問題点の克服・解決に向けた個別指導、分析結果・指導状況等の教員へのフィードバック等。

④補習授業等の企画・運営：要望の多い科目・分野のミニレクチャー等の企画・運営

⑤基礎学力向上を目的とした学習支援教材の作成

2．組織と運営

①担当専任教員：教授2名・准教授1名(2019.5.1現在)

②利 用 対 象 者：薬学部学生(全学年)
学習支援を希望する学生の利用が優先であるが、成績上位の学生がレベルアップを図る目的で来室するケースもある。

③利　用　時　間：月曜日～金曜日　9:30～19:00(学習相談、学習室利用)

④学習室(自習室)：学習室 A　48 席、学習室 B　16 席、PC 設置　6席

⑤設備そのほか：ノート PC　6台　各種教科書、国家試験対策用テキスト等［禁帯出］

3．2018 年度実績

①薬学特別演習（各 15 回）
＊第２学年・前期：Ⅰ（化学系）－29 名
後期：Ⅰ（生物系）－32 名
＊第３学年・通年：Ⅱ（生物系）－24 名
前期：Ⅲ（薬理系）－39 名
受講学生数　計 124 名

②薬学教育支援室主催の講習会

開催月	回数	受講学生数	対象学生
7 月	1 回	140 名	第 2 学年
11 月	1 回	38 名	第 3 学年
12 月	3 回	120 名、110 名、53 名	第 1・2 学年
2 月	2 回	130 名、110 名	第 2 学年
受講学生数　計		のべ 701 名	

③科目担当教員（薬学支援室教員以外）による薬学教育支援室での個別指導

開催月	担当教員数	担当日数	対象学生
6 月	5 名	4 日	第 1～3 学年
7 月	16 名	10 日	第 1～3 学年
10 月	13 名	6 日	第 1～3 学年
11 月	10 名	9 日	第 1～3 学年
12 月	7 名	3 日	第 1～3 学年
2 月	25 名	13 日	第 1～3 学年
計	のべ 76 名	45 日	

【歯学教育支援室】(2012.5 開設/歯学部棟1階)

1. 目的と機能

① **相談室の設置(1室)** : 学習相談・支援と生活指導の実施

「相談ブース」は、学習に不安や悩みを抱えた学生や入学時テスト(第1学年:化学、生物学、物理学、英語)、中間試験および定期試験の成績不振者を対象として、1名の専任教員が面談を行い、学習指導や生活指導の実施および不得意分野克服の支援や学習の習慣化のサポート等を個別に実施している。また、担任や科目担当教員と個別指導に関する情報を共有しながら連携することによって、学生の基礎学力や成績の向上をめざした活動を行っている。

② **演習室の設置** : 基礎学力が不十分な学生に対する補習講義の実施およびアクティブラーニング(自習学習・グループ学習)などの場の提供

「演習室」では、主に第1学年の成績不振者を対象として、「高校化学・生物学」の復習講義や全学教育科目(「化学(物質の化学)」、「生物学(人体生命科学Ⅰ・Ⅱ)」等)および専門教育科目(「歯の解剖学」、「人体構造科学」「歯科生物学」等)の補習講義を企画・開講し、基礎学力および学業成績の向上を図っている。なお、演習室は補習講義が実施されていない時間帯は開放しており、学力向上を目的とした自習学習またはグループ学習に随時利用することができる。

2. 組織と運営

① **担当専任教員** : 客員教授(名誉教授)1名

② **利用対象者** : 歯学部学生(＊原則として低学年)

③ **利用時間**

- **相談室(1室)** … 【前後期】月～金曜日 13:00～17:00
- **演習室** … 補習講義を実施していない時は自習室として随時利用可能 (21 時に施錠)

④ **設備その他**

- **演習室** … 20 席、一般図書・参考図書[禁帯出]、参考プリント
  - ＊ グループ学習(学生による学生の学習支援)の場所としての利用可
  - ＊ 補習授業の際は、自習室としての利用不可

【看護福祉学教育支援室】(2013.4 開設/看護福祉学部棟4階)

1. 目的と機能

基礎学力に不安がある学生や特別な支援を要する学生について、主に学習面におけるサポートを行うことを目的としている。学生の学習上のニーズを的確に捉え、充実した学生生活を送ることができるよう支援することを基本方針としている。

2015 年度からは、「支援を必要とする学生」の層をタイプ別にしてそれぞれの支援内容をより具体的にしたことを盛り込んだ教育支援体制と連携フローを作成し、学部内において共有した。

2. 組織と運営

専任教員、基礎系の教員、臨床福祉学科の担当教員(教務担当、教職担当、就職担当、国試対策担当教員等)による教育支援室運営委員会を設置し、原則として月1回運営委員会を開催し、事業の優先順位や支援の企画などを検討している。

臨床福祉学科で行っている前期定期試験後の個人面談結果等をクラス担任と共有し、再試験が多い学生には個別相談を促すなど、学科との連携を強化している。

場所　看護福祉学部棟4F
利用　随時利用可能
設備等　共用スペースのほか、面談等に使用できる個室あり。
個室内にPC2台を設置し、論作文の指導等に使用している。
国家試験対策問題集や教職関係図書を設置している。
支援内容　①学習方法の個別相談・指導(再試対策の助言など)
②国家試験対策の支援(ミニ講座の開講など)
③自主学習のための利用　等

3. 2018 年度実績

【委員会開催数】 年間 12 回
【相談日時の設定】 水・木・金 10:00～15:30
【担任教員との合同会議の定例化】

2016 年 11 月、第 1 学年担任教員と教育支援室運営委員との合同会議を実施し、個人面談結果をもとに、対策等について情報共有した。2017 年度から本会議を定例化し、前期および後期に各 1 回ずつ実施することとした。

【国家試験対策】 自主勉強会の支援、対策講座・模試再試験の支援

【心理科学教育支援室】(2014.7 開設(臨床心理学科)/札幌あいの里キャンパス心理科学部棟2階)
(2014.9 開設(言語聴覚療法学科)/札幌あいの里キャンパス心理科学部棟4階)
(2015.4 開設(臨床心理学科)/当別キャンパス中央講義棟9階)
(2019.4 新学部開設に伴い札幌あいの里キャンパス心理科学部教育支援室機能を当別キャンパスに移管)

1. 目的と機能

基礎学力に不安を抱える学生や、学習に対してつまづき感を持つ学生に対して教育上のサポートをすることを目的とし、下記支援実施のため、心理科学教育支援室を設置している。

①学習面におけるサポート教育
②個別学習相談
③アカデミック・スキル等の修得

2. 組織と運営

臨床心理学科、言語聴覚療法学科ともに、教務部・学生部等と連携しながら、①基礎学力の補完、②学習スキルの指導、③専門科目へのスムーズな導入等、円滑な支援を実施している。

なお、教員のほかに、大学院生も一部運営に携わっており、学生が気軽に利用できるよう配慮している。

【リハビリテーション科学教育支援室】(2016.4 開設、歯学部・歯科クリニック棟5階)

1. 目的と機能

基礎学力に不安を抱える学生や特別な支援を要する学生に対して教員上のサポートを行うことを目的としている。学生の学習ニーズを的確に捉え、充実した学生生活を送ることができるよう支援することを基本方針とする。

①学習面におけるサポート教育
②個別学修相談
③アカデミック・スキル等の修得

2. 組織と運営

教務部・学生部等と連携しながら、①基礎学力の補完、②学習スキルの指導、③専門科目へのスムーズな導入等、円滑な支援を実施している。

【リハビリテーション科学部学習支援センター】(2013.4 開設、歯学部・歯科クリニック棟6階)

1. 目的と機能

学習面において不安や悩みを抱えている学生に対して全教員が個別に相談や指導を行うほか、学生が自学自習する場所として、学部開設と同時に学習支援センターを設置した。センターは教員室フロアの中心に位置し、相談・学習のためのテーブルやイス、自由に閲覧できる学習関連図書や雑誌、専門誌等を設置している。

また、オープンスペースと各教員室との仕切りはガラスを多用していることから明るく開放的な空間となっており、教員と学生との距離が近く、気軽にコミュニケーションを取れるよう工夫している。

2. 運営

①場　所:リハビリテーション科学部教員室フロア(歯学部・歯科クリニック棟 6 階)
②利　用:学生は自由に利用可能(～21:00 まで)
③設備等:座席数 66 席(各種教科書、国家試験対策用テキスト等)

【医療技術学部教育支援室】(2019.4 開設、医療技術学部棟4階)

1. 目的と機能

基礎学力に不安を抱える学生や支援を要する学生に対して、教育上のサポートを行うことを目的としている。

①学習面におけるサポート教育
②個別学修相談
③学習スキルの指導

2. 組織と運営

新入生を迎えたばかりであり、学生のニーズを集約した上で、適切な運営を行う予定である。現在は、学生部と教務部の協力体制をとっており、必要に応じて、実務的な運営を検討していく。

2. 経済的支援

本学では、人物・学業ともに優秀で、経済的理由により修学困難な学生に対して、様々な奨学金制度を設けて支援を行っている。入学試験に関連するものとして、医療と福祉の分野において、将来活躍が期待される人間力豊かで有為な若人たちの進学への希望を経済的側面から支援するため、学納金の一部を免除する「夢つなぎ入試」を 2009 年度入試から実施しており、2019 年度の申請者は 116 名で、内 36 名を支援対象者として決定した。

また、将来、歯科医学・歯科医療の分野をリードするという高い志を持ち、人間性豊かな歯科医師を育成するため、学業・人物ともに優れた歯学部入学生を支援する「歯学部特待奨学生」制度を 2011 年度入試から導入した。

2013 年度入試からは、本学薬学部を卒業後、本学大学院薬学研究科博士課程に進学し、研究科修了後に教員として本学薬学部の教育・研究を支えることを志望する者で、人物・学業成績とも優れている者を支援する「薬学教育・研究者育成奨学生」制度を導入。なお、2017 年度入試から、薬学部の奨学金制度を見直し、薬剤師育成を目的とした「薬学部特待奨学生」制度を導入した。

さらに、2015 年度入試からは、人材不足が社会問題となっている福祉・介護専門職の人材育成を図るため、臨床福祉学科を志望する人物・学業成績ともに優れている者を支援する「福祉・介護人材育成奨学生」制度を導入した。

また、本学独自の貸与型奨学金制度も設けており、日本学生支援機構の基準に準じて、学内選考により決定している。

（1）奨学金制度

【入試に係る制度】

〇夢つなぎ入試

① 支援の内容

・初年度入学金の全額と授業料の半額を免除

・次年度以降は学業成績が上位 1/3 以上で、家計の経済的困難が継続すると見込まれる者に対し、授業料の半額免除を継続して支援

② 対象者（出願資格）

経済的理由により大学進学が困難な状況にある者で、2015 年 3 月以降*1に高等学校を卒業した者もしくは卒業見込みの者（就職内定取消しにより進路未定の者で、高等学校、大学等を卒業見込みの者を含む）

※出願時に所定の申請書及び証明書を提出　　*1 2020 年度入試は 2016 年 3 月以降

③ 対象学部・学科・学校・人数

全学部・学科、歯科衛生士専門学校を対象とし、対象人数は各学部・学科の総募集定員の 5～10％程度とする。

④ 2019 年度の結果

2019 年度の「夢つなぎ入試」では、以下のとおり 35 名の支援対象者が決定した。

学部	申請者	支援対象者	１人当たりの支援額(初年度)
薬学部　薬学科	23 名	8 名	1,100,000 円
歯学部　歯学科	16 名	8 名	2,200,000 円
看護福祉学部　看護学科	10 名	2 名	900,000 円
看護福祉学部　臨床福祉学科	6 名	5 名	750,000 円
心理科学部　臨床心理学科	15 名	4 名	750,000 円
リハビリテーション科学部理学療法学科	12 名	2 名	837,500 円
リハビリテーション科学部作業療法学科	11 名	2 名	837,500 円
リハビリテーション科学部言語聴覚療法学科	11 名	3 名	837,500 円
医療技術学部臨床検査学科	11 名	1 名	875,000 円
歯学部附属歯科衛生士専門学校	1 名	1 名	525,000 円
合計	116 名	36 名	

⑤ 地域社会（「当別アパート組合」）からの支援

地元の「当別アパート組合」からも、この「夢つなぎ入試」の趣旨について賛同を得ることができ、組合員であるアパート・マンション・下宿経営者へ協力を募っていただいた。この結果、いくつかの経営者有志の方々に、「夢つなぎ入試」支援対象者に対する家賃優遇等（家賃 13～50％割引、敷金の割引・免除、優遇期間 1 年から卒業まで）のご協力を得ている。

〇薬学部特待奨学生

① 減免の内容

・本学薬学部卒業までの学納金を国公立大学と同水準とする（本学と国公立大学の差額相当分を給付）。

入学金：300,000 円、年間授業料（初年度）：517,800 円・（2 年次以降）：535,800 円

※6 年間トータル 3,496,800 円

② 2019 年度採用人数

2 名

③ 2019 年度選抜方法

センター前期A入試・一般前期入試において実施。学力試験、面接、調査書の結果を総合して採用者を決定。

〇薬学教育・研究者育成奨学生

① 減免の内容

・5 年次以降本学大学院への進学を希望し、学業成績が 1/4 以上の者に対して、本学と国公立大学の差額相当分を奨学金として貸与する（本学大学院薬学研究科に進学した場合には返還を免除、進学しなかった場合には貸与された奨学金を返還）。
(5, 6 年次での奨学金貸与額):1,364,200 円/年

② 採用人数

2 名(2021 年度の第 5 年次から実施)

③ 選抜(募集)方法

第 4 年次の 11 月頃実施予定。

〇歯学部特待奨学生

① 減免の内容

・本学歯学部卒業までの学納金を国公立大学と同水準とする（本学と国公立大学の差額相当分を給付）。
入学金：300,000 円、年間授業料（初年度）：517,800 円・（2 年次以降）：535,800 円
※6 年間トータル 3,496,800 円

② 2019 年度採用人数

1 名

③ 2019 年度選抜方法

センター前期A入試・一般後期B入試において実施。学力試験、面接、調査書の結果を総合して採用者を決定。

〇福祉・介護人材育成奨学生

① 減免の内容

・第 1 学年　年額 900,000 円、第 2 学年以降　年額 1,000,000 円を給付。
入学金：300,000 円、年間授業料（初年度）：0 円・（2 年次以降）：200,000 円
※4 年間トータル 900,000 円

② 2019 年度採用人数

12 名

③ 2019 年度選抜方法

一般前期、センター前期A・B入試において実施。学力試験、面接、調査書の結果を総合して採用者を決定。

【貸与型の制度】

概要(本学奨学金)

○一　般　奨　学　生	成績優秀、心身健全で、経済的理由で奨学金の貸与が必要と認められる者 ・対象学部・学年:全学部・全学年　・貸与額:年額 50 万円
○入学一時金分割奨学生	本学学部第 1 学年に入学した者で、成績優秀、心身健全で、経済的理由で奨学金の貸与が必要と認められる者 ・対象学部・学年:全学部・全学年　・貸与額:入学一時金の額の範囲内
○災害・事故等奨学生	成績優秀、心身健全で、父母等学費負担者が、災害、事故等により学費の支弁が著しく困難で、奨学金の貸与が必要と認められる者 ・対象学部・学年:全学部・全学年　・貸与額:当該学部の授業料等の額の範囲内
○学業継続奨学生	成績優秀、心身健全で、父母等学費負担者が、災害、事故等以外の経済的理由により学費の支弁が著しく困難で、奨学金の貸与が必要と認められる者 ・対象学部・学年:全学部・最終学年　・貸与額:当該学部の授業料の範囲内

（2）受給状況

①本学奨学金

（単位：千円）

項目 種類		2018 年度の実績					
		学部等	予算人数	受給人数	単価	金額	受給人数/予算人数
一般奨学生		薬学部	40	49	500	24,500	122.5%
		歯学部	19	19	500	9,500	100.0%
		看護福祉学部	30	24	500	12,000	80.0%
		心理科学部	12	15	500	7,500	125.0%
		リハビリテーション科学部	31	19	500	9,500	61.3%
	修士課程	薬学研究科	14		600	0	7.1%
		看護福祉学研究科		1		600	
		心理科学研究科				0	
		リハビリテーション科学研究科				0	
	博士課程	薬学研究科	17		800	0	47.1%
		歯学研究科		7		5,600	
		看護福祉学研究科		1		800	
		心理科学研究科				0	
		リハビリテーション科学研究科				0	
入学一時金分割奨学生		薬学部	若干名		入学一時金の額の範囲内		0.0%
		歯学部					0.0%
		看護福祉学部					0.0%
		心理科学部					0.0%
		リハビリテーション科学部					0.0%
災害・事故等奨学生		薬学部	若干名		授業料等の範囲内		0.0%
		歯学部					0.0%
		看護福祉学部					0.0%
		心理科学部					0.0%
		リハビリテーション科学部					0.0%
		大学院薬学研究科					0.0%
		大学院歯学研究科					0.0%
		大学院看護福祉学研究科					0.0%
		大学院心理科学研究科					0.0%
		大学院リハビリテーション科学研究科					0.0%
学業継続奨学生		薬学部	若干名		授業料等の範囲内		0.0%
		歯学部		1		2,050	100.0%
		看護福祉学部					0.0%
		心理科学部					0.0%
		リハビリテーション科学部		1		1,087.5	100.0%
合計			163	137		73,137.5	84.0%

本学奨学金の在籍学生数に対する割合

在籍学生数	奨学金受給数	受給率	学生数/受給者数
3,420 名	137 名	4.0%	25.0 人

②日本学生支援機構奨学金

（単位：人）

学部等	第一種	第二種	計（実人数）	受給率	学生数/受給者数
薬学部	184	301	396	37.9%	2.6 人
歯学部	26	43	55	12.8%	7.8 人
看護福祉学部	146	218	311	45.7%	2.2 人
心理科学部	43	89	110	37.7%	2.7 人
リハビリテーション科学部	173	288	391	48.8%	2.0 人
小計	572	939	1,263	38.9%	2.6 人
大学院薬学研究科			0		
大学院歯学研究科	16	2	16	30.2%	3.3 人
大学院看護福祉学研究科	3	2	3	4.9%	20.3 人
大学院心理科学研究科	10	1	10	33.3%	3.0 人
大学院リハビリテーション科学研究科			0		
小計	29	5	29	17.0%	5.9 人
合計	601	944	1,292	37.8%	2.6 人

3. 就職支援

①進路・就職ガイダンス(2018 年度)

「学生自らが考え、自分の将来を切り開いていく」力を身につけられるよう、低学年次からのキャリア・就職ガイダンスを実施している。このガイダンスは各学科の特性を考慮し、グループワーク形式も取り入れた自己分析・職業観涵養、および就職活動スキル習得を目的としたもので、2009年度から年間約 60 回程度実施しており、学生が主体的に具体的な就職活動を行えるよう全体支援を行っている。また、相談員による個人の希望と適性を考慮したきめ細やかな個別相談も併せて行っている。

なお、学生の「仕事・業界」への理解と「応募に直結する機会」として就職相談会も実施している。

月	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科学部
4	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(5年) ・今後の活動について 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(6年) ・就職活動について 薬学生ｾﾐﾅｰ(5・6 年)		進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (看護学科3年、臨床福祉2・3年) ・進路について 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(看護4年・臨床福祉4年) ・就職活動について 個別面談(臨床福祉 4 年)	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 2・3 年) ・進路について 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(4 年) ・今後の就職活動について	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (理学・作業・言語 3. 4 年) ・就職活動の注意点
5			模擬面接会(看護4年)	個別面談(臨床心理 3 年)	
6	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(6 年) ・就活スキル ・面接ﾏﾅｰ	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(6 年) ・ﾏｯﾁﾝｸﾞ ID 等配布	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床福祉2・3年) ・進路について 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(看護4年・臨床福祉4年) ・面接対策	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 2 年) ・進路について 進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 3 年) ・業界研究/ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟほか	
7	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(5年) ・ 仕事を知る		進路ガイダンス(看護3年) ・自己分析 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床福祉4年) ・面接対策	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理2年) ・特別ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ講座について 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理4年) ・社会福祉施設の就職活動 特別ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ講座(臨床心理 2 年)	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(理学・作業 4 年) ・就職活動について
8	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(5 年) ・製薬企業希望者対象ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ				特別ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ講座 (理学・作業・言語2年)
9			進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (看護2・3年、臨床福祉3年) ・就職活動について ・卒業生の講話	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(言語 4 年) ・就職活動について	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(言語 4 年) ・就職活動について
10	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(2年) ・ 卒業生講話 進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(5年) ・ 就職ｽｹｼﾞｭｰﾙ ・ 履歴書記入ﾎﾟｲﾝﾄ		特別ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ講座(臨床福祉3年) 就職相談会(臨床福祉 4 年) 進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(看護3年) ・卒業生講話	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(言語 4 年) ・応募書類準備 ・面接基礎ﾏﾅｰ ほか 就職相談会 (臨床心理 4 年・言語 4 年) 進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 3 年) ・履歴書/筆記試験対策	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (理学・作業・言語 4 年) ・応募書類準備 ・面接基礎ﾏﾅｰ ほか 就職相談会 (理学・作業・言語 4 年)
11		UMINID に関するｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床福祉3年) ・内定者のパネルトーク	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 3 年) ・履歴書/筆記試験対策	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(理学 3 年) ・自己分析 ・働く社会人の講話
12	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(5 年) ・就職活動ｽｹｼﾞｭｰﾙ ・進路希望調査		進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (看護3年、臨床福祉3年) ・就職活動について ・履歴書対策	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 3 年) ・就職活動について 学内業界研究ｾﾐﾅｰ(臨床心理 2・3 年)	
1	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (4 年) ・卒業生講話		進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床福祉2年) ・卒業生講話	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(言語 3 年) ・自己分析 ・働く社会人の講話	進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (作業・言語 3 年) ・自己分析 ・働く社会人の講話
2				進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(臨床心理 3 年) ・就活解禁直前講座 就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ(言語 3. 4 年) ・就職活動の注意点	就職ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (理学・作業・言語 3・4 年) ・就職活動の注意点
3					

②特別キャリアデザイン講座

2009年度から文部科学省の学生支援推進プログラム(学生支援GP)の一環として、学生一人一人が自ら将来の人生設計を見据えたキャリアデザインを形成し、具体的な将来像を描くことができるとともに、将来像の実現に向け行動することができる等、学生の自主的な学習や社会人基礎力を身につける活動を可能にすることを目的とした「特別キャリアデザイン講座」を実施している。

本講座は、進路・就職ガイダンスのほかに本学において専門職以外の多様な職業に就く学生が比較的多い看護福祉学部(臨床福祉学科)3年生、心理科学部(臨床心理学科)2年生を対象として、その効果を高めるために2日間計8コマの集中講座形式によって、企業・教育機関等で社員研修トレーナーやキャリアカウンセリングを行っている外部の専門トレーナーを招いて実施している。

2014年度からはリハビリテーション科学部2年生対象の講座も実施し、“「自ら将来を切り開いていく力を身につける」～働く意味を考え、仕事の実際を理解する～”と題し「“働く”を考える」「働く社会人との対話を通して仕事の実際を理解する」等の項目について、少人数のクラス編成で行っている。

参加した学生はグループワーク形式のディスカッションや発表等を通して、改めて自分の将来を見据え、「働くこと」を考える良い機会となった。

4. 健康管理

当別キャンパス薬学部棟2階には、保健センターを設置しており、保健管理業務の一環として定期健康診断･健康相談を実施し、健康管理に努めている。札幌あいの里キャンパスには、保健室を設けている。
また、本学では、教育活動中等に被る種々の災害を考慮して、被害を受けた学生に対する救済措置を準備している。
さらに、学生の正課･課外活動中、ボランティア活動中の災害や、大学への通学、学外で行っている病院等施設実習、学外での課外活動への移動中に生じる事故等に備え、保険料は、大学負担で全学生が傷害保険に加入し、万が一の事故に対応している。

(1)保健センター・学生相談室

保健センターには、センター医師・保健師・看護師が常駐しており、定期健康診断・健康相談等の企画・実施のほか、学生・教職員の健康を保持増進するために必要な知識を提供し、病気や身体的な悩み等の相談に対応している。2016年11月に組織改編を行い、診療業務を中心に学生教職員の健康管理のための業務を拡大、充実させた。

札幌あいの里キャンパスはキャンパス内に隣接する大学病院で受診できることもあり、医療技術学部に設けられている保健室は一時的な静養室として利用されることが中心となっている。これらの方策をより具体的に実践するためホームページや全学メール配信等で、学生教職員の健康管理の啓発に役立てている。また、1998 年度から「保健センター年報」を発行している。

また、両キャンパスに「学生相談室」を設置し、臨床心理士資格を有するカウンセラーが学生の心理的な悩みや問題等に対応し、解決のためのアドバイスを行っており、当別キャンパスの相談室は週3日、札幌あいの里キャンパスの相談室は週1日体制で開設している。

センター利用状況（2018年度）

月	男女別(人)			学部・学校別(人)							
	男	女	計	薬	歯	看護	リハ	心	衛	その他	計
4	204	239	443	162	61	58	77	12	24	49	443
5	312	652	964	238	97	253	239	55	67	15	964
6	409	776	1,185	424	126	201	307	61	56	10	1,185
7	468	867	1,335	499	98	361	254	58	34	31	1,335
8	140	264	404	108	39	94	124	6	22	11	404
9	222	470	692	210	68	158	194	28	27	7	692
10	462	771	1,233	360	103	244	333	36	55	102	1,233
11	493	892	1,385	454	169	215	403	30	78	36	1,385
12	365	691	1,056	218	108	328	307	37	19	39	1,056
1	114	196	310	62	51	79	49	23	30	16	310
2	100	128	228	82	32	18	45	15	10	26	228
3	47	43	90	26	12	12	19	4	0	17	90
計	3,336	5,989	9,325	2,843	964	2,021	2,351	365	422	359	9,325

(2)健康診断

健康の保持増進のため、毎年4月下旬～5月上旬の期間に定期健康診断(内科検診、X線検診、歯科検診、身体測定等)を実施している。また、病院等での臨床実習中の感染症を未然に防止するため、全学生に対し、HBs抗原・抗体検査を実施するとともに2007年度から新入生に対して麻疹(はしか)、風疹、水痘、おたふくの抗体検査やワクチン接種を積極的に実施している。

なお、浅香学長の発案による「胃がん予防プロジェクト」として、2018年度から定期健康診断の時期に合わせ、新入生全員を対象にピロリ菌の有無を調べる血液検査を実施している。

(3)各種保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生の正課・課外活動中の災害に対する補償制度であり、本学では全学生が加入し、保険料は、全額本学が負担している。また、通学途中や実習施設等への移動中における傷害事故や、実習中の感染事故にも対応している。各種傷害保険の概要は以下のとおりである。

名称	対象者	補償内容
学生教育研究災害傷害保険	大学院生全員 学部学生全員	「正課中・学校行事中・課外活動中」または「正課・学校行事・課外活動のいずれかに位置づけられたﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ活動中」に発生した傷害事故に対する補償。 【死　亡　時】事故時の形態により、1,000万円または2,000万円 【後遺障害】その程度により、60万円～3,000万円 【通　　院】通院日数により、3千円～30万円　　【入　　院】左記に加算　　日額 4千円
学生教育研究災害傷害保険 通学中等傷害危険担保特約	大学院生全員 学部学生全員	「正課・学校行事・課外活動」または「正課・学校行事・課外活動のいずれかに位置づけられたﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ活動」のための移動中又は通学途中に発生した傷害事故に対する補償。 【死　亡　時】1,000 万円 【後遺障害】その程度により、60万円～1,500万円 【通　　院】通院日数により、6千円～30万円　　【入　　院】左記に加算　　日額 4千円
学生教育研究災害傷害保険 接触感染予防金支払特約	大学院生全員 学部学生全員	臨床実習の目的で使用される施設内で、学生が感染症の病原体に予期せず接触した事故に対する感染症予防措置費用に対する補償。 【感染症予防措置費用】1事故につき1万5千円
専修学校各種学校学生生徒災害傷害保険	歯科衛生士専門学校生全員	「正課中・学校行事中・課外活動中・通学途中」に発生した傷害事故に対する補償。 死亡時: 1,000万円または2,000万円　後遺障害:その程度により、60万円～3,000万円 通　院:日額 1,200円　入　院:日額 4千円
専修学校各種学校学生生徒災害傷害保険 通学中等傷害危険担保特約	歯科衛生士専門学校生全員	「通学途中・学校施設等相互間の移動中」に発生した傷害事故に対する補償。 【死　亡　時】1,000 万円 【後遺障害】その程度により、60万円～1,500万円 【通　　院】通院日数により、1,200円～10万8千円　　【入　　院】左記に加算　　日額 4千円
専修学校各種学校学生生徒災害傷害保険 感染予防費用補償特約	歯科衛生士専門学校生全員	臨床実習の目的で使用される施設内で、学生が感染症の病原体に予期せず接触した事故に対する感染症予防措置費用に対する補償。 【感染症予防措置費用】1事故につき30万円（実費払い）　※2018年度以前入学生:1事故につき1万5千円
感染事故補償保険	大学院生・学部学生 歯科衛生士専門学校生全員	臨床実習の目的で使用される施設内で、学生が感染症の病原体に予期せず接触した事故に対する感染症予防措置費用に対する補償。 【感染症予防措置費用】外傷を伴う事故　1事故500万円限度　　外傷を伴わない事故　1事故50万円限度

(4) キャンパス・ハラスメント防止・対策

本学では、教職員及び学生の人格を尊重し、良好な職場環境や教育研究環境を守り、教職員の就労上及び学生の修学上の権利、利益の保護を図るため、キャンパス・ハラスメントに関する防止や対策についての指針を定め、人権侵害の防止に努めている。

セクシュアル・ハラスメントに関する取組は、2000 年度の「男女雇用機会均等法」の改正に伴い制度化した。また、2008 年度からは、職権を背景としたパワー・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントにも対応できるよう制度を改めた。

○ キャンパス・ハラスメント防止対策委員会

キャンパス・ハラスメント防止対策委員会は、ハラスメントの防止に関する調査、啓発及び研修、ハラスメントの相談・苦情解決等の活動を行っている。啓発活動として、ハラスメント防止を呼びかけるリーフレット配布のほか、教職員に対してはキャンパス・ハラスメント防止に関する講演会の開催、学生に対しては新入生オリエンテーションやガイダンスを通してハラスメントへの理解を深めるよう努めている。また、問題が起こった場合は、調査小委員会を設置の上、当事者及び関係者から事情を聴取し、問題解決に向けた調整を行っている。

○ 相談員

キャンパス・ハラスメントに関する相談に応じるため、各部局に相談員を配置している。相談は、面談のほか、手紙、電話又は電子メールのいずれでも受け付け、相談を受けた人や上司等の第三者からの相談も受け付けている。相談員は、相談者の悩みを親身に聞き、相談者が受けた行為がキャンパス・ハラスメントに当たるかどうかを判断することを助け、今後取るべき方法（調査）について、相談者が自分で意思決定をするために必要な相談に応じている。

(5) キャンパス内禁煙

「健康増進法」の施行（2003 年5月）により、学校、病院等の多数の者が利用する施設は、受動喫煙等の防止に努めることとされた。

保健・医療・福祉に携わる専門職業人の養成機関である本学は、他人に健康被害を与える喫煙を看過できない問題として捉え、「健康増進法」の施行に先立ち、学務連絡協議会の下部組織として「喫煙に関する検討委員会」を 2003 年度に組成した。同委員会では、学内の分煙化・禁煙化について徹底的に議論を行い、2004 年3月に当別キャンパス内のタバコ自動販売機を撤去、完全分煙化を徹底し、2004 年4月から札幌あいの里キャンパス内を全面禁煙とした。

当別キャンパスでは、完全分煙化を実施する中で、喫煙者に対する禁煙教育（外部講師による講演会）・周知（ホームページによる啓発）・促進（禁煙外来のある医療機関の紹介）を行い、2005 年4月からはキャンパス内全面禁煙とした。また、2006 年3月に「喫煙に関する検討委員会」を発展的に解消し、新たに「キャンパス内禁煙実行委員会」を組成した。同委員会が中心となり、2007 年度（札幌あいの里キャンパスは 2008 年度から）から「キャンパス内クリーン作戦」と称し、当別キャンパス内を年5回程度巡回し、環境保全に努めた。なお、同委員会は、2017 年度末を以て発展的に解消し、以後、喫煙の害に関する啓発等については、保健センターに委ねるものとした。

2008 年度6月及び 2010 年4月には全学の第1学年を対象に「タバコに対する意識調査」を実施する等、キャンパス内禁煙、喫煙の害について啓発するべく、企画・立案・実施に向けて検討を重ねている。

このほか、毎年度、全学生を対象としたアンケート（学生生活実態調査）の中で、喫煙に関する設問を複数設け、学生喫煙者や非喫煙者の動向等を詳細に調査しているほか、新入生を対象とした全学ガイダンスにおいて学内教員による喫煙の害についての啓発講義を実施している。

5. 課外活動

(1)学友会

学友会は、課外活動を通して、社会人としての自主自立の精神を確立するため、また、クラブ活動･大学祭を運営し、会員となる学生相互の親睦と学術文化体育の向上をはかるために組織され、体育局、学術文化局の49団体から構成されている。学生の約20%が、いずれかのクラブ･同好会に所属して有意義なキャンパスライフを送っている。

① 体育局

体育局に所属するクラブは、各学生リーグ等に加盟し、リーグでの上位を目指し、日夜厳しい練習を重ねている。夏に開催される全日本歯科学生総合体育大会等に参加し、過去には優勝をするなどの輝かしい戦績を残している。

②学術文化局

学術文化局に所属するクラブ・同好会は、日頃の活動を基盤に学内で作品の展示を行うほか、学外においても演奏会・コンクール・ボランティア活動を中心に活発に活動を行っている。また、日頃の練習成果を施設等の慰問活動を通じて発表する等、地域に密着した活動を行っている。

③大学祭実行委員会

大学祭実行委員会は、学生有志により構成され、大学祭「九十九(つくも)祭」および体育祭の企画・立案、運営を担っている。活力やノウハウは代々引き継がれ、学生イベントを円滑に進める推進力となっている。

[クラブ・同好会数の推移]　（団体）

	クラブ			同好会			計		
	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
体　育　局	21	23	22	8	7	6	29	30	28
学術文化局	14	14	12	10	11	9	24	25	21
計	35	37	34	18	18	15	53	55	49

[クラブ・同好会所属人数(5/1 現在名簿提出記載者数に基づく)]

（人）

	男子			女子			計		
	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
体　育　局	245	256	204	200	173	142	445	429	346
学術文化局	134	135	128	219	266	182	353	401	310
計	379	391	332	419	439	324	798	830	656

[2019 年度　クラブ・同好会一覧]

体育局		学術文化局	
【クラブ】		【クラブ】	
アメリカンフットボール部	ソフトテニス部	アカペラ部Chapel	植物研究部
ウェイトトレーニング部	卓球部	囲碁・将棋部	美術部
空手部	男女バスケットボール部	軽音楽部	北海道医療大学カフェクラブ Bonheur
基礎スキー部	男女バレーボール部	弦楽部	
弓道部	軟式野球部	茶道部	北海道医療大学SF研究部
剣道部	バドミントン部	歯科医療問題研究会	北海道医療大学吹奏楽団
硬式庭球部	ハンドボール部		YOSAKOI ソーラン祭り部
硬式野球部	ボウリング部		
ゴルフ部	ラグビー部	【同好会】	
サッカー部	陸上競技部	映画研究同好会	ダンス同好会 PRANCY
柔道部		学生ボランティアネットワーク	Pharm*H
準硬式野球部		けん玉同好会	フィッシング同好会
		手話サークル	北海道医療大学ピアノ同好会
【同好会】			ボランティアサークルオリおん
アイスホッケー同好会	北海道医療大学ライフセービングサークル		
合気道同好会			
インディアカ同好会	北海道医療大学ワンダーフォーゲルサークル		
フットサルサークル			

④学友会運営概要

学友会は、学部学生一人当たり1万円(専門学校生5千円)の年会費を財源として運営されている。会費は、毎年度学生代表の体育局・学術文化局の局長・次長、大学祭実行委員会の委員長・副委員長からなる学友会運営委員会と各団体代表との予算会議で、配分が協議される。学友会費は、大学祭関係費・体育局所属クラブが出場する北海道地区大学体育大会の分担金・毎年度発行している学友会誌・各クラブが活動するのに必要な各学連等の加盟費等による一般関係費、クラブ活動費、合宿補助金及び全国大会等へ出場した場合の補助のための予備費から編成され、執行されている。決算並びに予算の推移は以下のとおりである。

○決算の推移　（円）

科　目	2016年度	2017年度	2018年度
会費収入	34,495,000	32,635,000	36,089,132
雑収入	10,303	273	229
当期収入合計	34,505,303	32,635,273	36,089,361
前年度繰越金	32,672,561	36,510,531	27,829,541
収入の部合計	67,177,864	69,145,804	63,918,902
一般関係費	17,353,853	2,6026,193	19,261,780
クラブ活動費	11,877,486	13,724,752	11,162,837
合宿等補助金	0	0	4,168,653
損害保険料	1,147,954	1,426,438	892,650
予備費	288,040	138,880	797,413
当期支出合計	30,667,333	41,316,263	36,283,333
次年度繰越金	36,510,531	27,829,541	27,635,569
支出の部合計	67,177,864	69,145,804	63,918,902

○予算の推移　（円）

科　目	2017年度	2018年度	2019年度
会費収入	33,455,000	33,440,000	33,125,000
雑収入	0	0	0
当期収入合計	33,455,000	33,440,000	33,125,000
前年度繰越金	36,510,531	27,829,541	27,635,569
収入の部合計	69,965,531	61,269,541	60,760,569
一般関係費	30,250,000	24,195,176	21,695,844
クラブ活動費	13,550,000	15,179,484	15,020,491
合宿等補助金	1,800,000	1,800,000	4,500,000
損害保険料	1,200,000	1,200,000	（合宿等補助金に含む）
予備費	400,000	400,000	400,000
当期支出合計	47,200,000	42,774,660	41,616,335
次年度繰越金	22,765,531	18,494,881	19,144,234
支出の部合計	69,965,531	61,269,541	60,760,569

(2)九十九祭・体育祭

毎年6月中旬に開催される本学の大学祭「九十九祭」では、コンサート等をメインイベントに、様々なアトラクションが催され、多数の模擬店が出される。また、本学の附属施設を開放したイベントも企画され、中でも「薬草園を見る会」は、地元当別町だけでなく札幌市内からの参加者も多く、盛況となっている。

九十九祭は、各学部1～3年生を中心とした学生で組織された大学祭実行委員会により、企画・運営されている学生主体の行事であるが、学生同士のみならず、教職員及び地域との交流をはじめ、2012 年度からは卒業生及び在籍学生父母等から組織されている学校法人東日本学園後援会の出店があり、卒業生との交流も図られる等、大学の地域開放行事として根づいている。

第 41 回九十九祭(2019 年度)は、6 月 14 日(金)に前夜祭、15 日(土)・16 日(日)に本祭が行われた。

①2019 年度大学祭（九十九（つくも）祭）概要

[テーマと目的]

テーマ:「花鳥風月」

目　的: 大学・専門学校の学生と教職員との親睦／当別町の方とのふれあい／他大学学生との交流／学術文化局の発表の場

[日程概要]

6 月 14 日（金）16:30～20:30　前夜祭　　ステージ発表／花火大会
6 月 15 日（土） 9:00～18:00　本祭　　出店／アトラクション／ソフトボール大会／学術発表
6 月 16 日（日） 9:00～17:00　本祭　　出店／アトラクション／ソフトボール大会／学術発表

[参加者数の推移]　（人）

事項	参加者数		
	2016 年度	2017 年度	2018 年度
YOSAKOI ソーラン祭り	300	300	300
企画（ゲーム等）	912	1,143	1,288
献血	60	69	60
薬草園を見る会	99	116	100
健康チェック	103	—	—
コンサートライブ	880	1,250	1,000
オープンキャンパス	747	819	809
体育祭（ソフトボール大会）	163	130	171
前夜祭	300	180	200
特産品市（後援会協賛）	280	250	300
合計	3,844	4,257	4,228

②体育祭

毎年、屋外体育が終了した 11 月にバレーボール、バスケットボール、フットサル等の屋内競技種目を中心に開催される。

学生チームだけでなく、教職員チームも出場し、学生と教職員との触れ合いの機会ともなっている。また、年々参加チームも増えキャンパスライフの活性化にもなっている。

6. Student Campus President（学生キャンパス副学長）制度

本学では、2008 年度から「Student Campus President（略称：SCP/学生キャンパス副学長）」制度を導入した。
この制度は大学構成員の大多数である学生の大学運営への参画を促し、学生と教職員の協力の下、より良い大学づくりをめざす取組である。
SCP に任命される学生は、薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部から各 1 名、第6期（2013 年度）からはリハビリテーション科学部開設に伴い同学部からも選出されることとなった。選出にあたっては、より良い大学にするためのアイデアを掲げた学生が立候補し、選挙により決定される。選ばれた学生は、学長からユニフォーム（ブレザー）が授与され、正式に SCP として任命される。
大学では、各 SCP のアイデアを実現してもらうため、年間 30 万円までの活動費やキャンパス内に SCP 専用室を設置、また、教職員、卒業生等の人的サポート体制も用意している。
SCP 任命後は、それぞれのアイデアを具現化させるべくプロジェクトを立ち上げ活動する。また、オープンキャンパス等の大学行事参加や学生代表としての学内会議出席、そして、外部機関研修会での講演、雑誌取材対応やイベント参加等、学内外において北海道医療大学の顔として活動を行っている。

① SCP ホームページ

URL：http://scp.hoku-iryo-u.ac.jp

② これまでの主な活動

■2008 年　第 1 期 SCP の主な活動

・学生アンケート実施
・食堂改善プロジェクト（第 2・3 期 SCP 継続プロジェクト）
・大学ブランド商品の開発（第 2・3 期 SCP 継続プロジェクト）
・成績向上プロジェクト
・薬物乱用根絶プロジェクト（第 2・3 期 SCP 継続プロジェクト
・SCP 掲示板の設置
・オープンキャンパス、九十九祭への参加（以後毎年継続）
・入学式、学位記授与式への参加（以後毎年継続）

■2009 年　第 2 期 SCP

・SCP ホームページ開設
・「薬物乱用キャンペーン（札幌市薬剤師会・AIR-G 主催）」参加（以後毎年参加）
・禁止薬物に対しての学生意識調査実施

■2010 年　第 3 期 SCP

・地域交流プロジェクト（当別町各種イベント等参加）
・学習環境向上プロジェクト
・東北地方太平洋沖地震震災プロジェクト（募金活動・災害用対策パネルの展示等）
※北海道新聞記事掲載
・学生 FD 参加（山形大学）
・新入生応援プロジェクト
・当別町アパート組合懇談会出席（以後毎年）

■2011 年　第 4 期 SCP

・薬物乱用についての講演（北海道教育大学附属旭川中学校）
・「とうべつ Brandeli 認証委員会」への参加（当別町認証委員会での審査・認定業務）
・大学間交流（山形大学、札幌大学、追手門学院大学、立命館大学での学生 FD 会議等への参加）
・キャンパスカンファレンス実施（他大学学生も参加した学生交流イベントの企画運営）
・チャリティバザー（当別アパート組合との共催・収益は全額東日本大震災被災地へ募金）

■2012 年　第 5 期 SCP / 2013 年　第 6 期 SCP

・薬物乱用についての講演（北海道教育大学附属旭川中学校）
・チャリティバザー（当別アパート組合との共催・収益は全額東日本大震災被災地へ募金）　ほか

■2014 年　第 7 期 / 2015 年　第8期 SCP / 2016 年　第9期 SCP

・食堂改善プロジェクト
・大学間交流
・チャリティーバザー（東日本大震災被災者支援）
・「薬物乱用防止キャンペーン」参加
・旭川市立知新小学校薬物乱用防止教室
・当別町タウンミーティング参加　　ほか

■2017 年　第 10 期 SCP

・チャリティイベント「キャンドルナイト」（当別町社会福祉協議会へ寄付）
・「薬物乱用防止キャンペーン」参加

■2018 年　第 11 期 SCP

・活動中（任期：～2019. 7. 31）